



支部だより vol.2016.No.2

日本物理教育学会九州支部

1 九州支部理事会より

○九州支部理事会報告について

2016年9月16日 18:30～、西南学院高校物理実験室にて支部理事会を開催しました。議事の概要をお知らせします。

議題1) 2016年度の支部総会・研究大会について

今年度は2017年3月4日(土)または3月11日(土)に大分大学(教育学部、藤井弘也先生のお世話)で実施する予定です。昨年度(熊本大学)に準じたプログラムで開催しますが、特別講演と「若手教員に役立つ私の実践(仮題)」として、ベテラン教員による経験に富んだ取り組みを紹介する企画を計画します。開催の期日、プログラム概要、発表の募集等、詳細案内については確定次第皆様にお知らせしたいと思います。

議題2) 2017・2018年度の支部理事会の改選について

九州支部は2013年12月に設立され、設立と同時に始動した支部理事会は4年目の活動を行っています。九州支部の会則によると支部理事の任期は2年、1回の再任が可能となっていますので、設立年度を含めると来年度は支部理事交代の年度となります。この件について支部理事会で協議した結果、設立年度の4か月の活動は支部立ち上げのための準備期間とみなし任期に含めないこと、したがって、現在の支部理事会は来年度までの任期とすることにしました。来年度一杯は現支部理事会が九州支部の活動を支援していきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議題3) 2017・2018年度の支部連絡委員の改選について

2015・2016年度に担当いただきました支部連絡委員(各県2名選出)の改選を行います。現支部連絡委員の方々には改選についてすでにご連絡を差し上げ、候補者の検討を行っていただいております。支部連絡委員の方々から10月中旬をめぐりに候補者を推薦いただく予定です。

議題4) 2016年度の活動予算について

支部の運営は、本会からの支部活動支援経費によって賄っています。今年度の活動費について経理担当支部理事(越地尚宏先生;久留米高専)と経理補佐(柴崎幸貴先生;西南学院中高)に確認をお願いし、支部理事会で確認を行いました。今年度についても、活動費のうちの2/3程度を支部会報「九州の物理教育」発行に当てる予定で、その外については、支部総会・研究大会運営、支部事務局運営、通信・連絡等に当てる見込みです。

2 本会理事会(第1回;2016/9/10)より

9月10日(土)に筑波大学文京キャンパスにて今年度第2回の理事会が開催されました。支部活動に関連すると思われる理事会での主な議事をお知らせします。

議題(2) 2016年度評議員会報告より

今年度の評議員会は新潟大学での研究大会前日（8月5日）に新潟市内で開催されました。九州支部からは柴崎幸貴先生（西南学院中学高校）が出席されました。また、当日の参加はできませんでしたが、市川聡夫先生（熊本大学）、緒方則彦先生（五島高校）、重田出先生（鹿児島大学）、福山隆雄先生（長崎大学）から、あらかじめ意見が提出されました。今回のテーマは「若手教員のサポート」でした。若手の先生方を周囲でサポートして物理教育の充実を図り、また、本学会への関心を持っていただくこと、ひいては学会会員となられることを期待するものです。評議委員会では、「若手教員のサポート」に関する各支部での取り組みも期待されました。九州支部では、3月に開催する支部研究大会で、「若手教員に役立つ私の実践（仮題）」といったベテラン教員による発表を設定し、会員ではない若手の先生方にも積極的に参加していただけるような企画を行うことを提案しました。（乞うご期待！）

議題（4）. 学生会員について

多くの他の学会では「学生会員」の規定を設け、会費の減免を行った学生の学会活動参加を促しています。一方、当学会では「学生会員」という名称を用いた対応はこれまで実施していませんが、学生に対する会費の減免制度があります。この制度が、学生の優遇を目的としたものあることがわかりにくいため、今後は、減免措置が学生の学会への参加を促すものであることを明確にすることになりました。会員の皆さんにおいても、学生の学会参加を促していただき、会費減免の申請が行えることを周知いただければと思います。

議題（12） 会誌の編集体制の変更について

これまで、会誌への投稿は年4回発行される会誌の原稿締め切りに合わせて、投稿の締め切りが設定されてきました。このため、会誌各号の印刷スケジュールを睨みながらの、査読、編集員会開催などの編集作業に厳しい時間制限が伴い、編集委員会の任務は極端に過酷な状況になっていました。このため、2017年（65-1）からは、投稿原稿の会誌号割り当てが撤廃され、査読と編集委員会の認定を得られた原稿は、タイミング的に間に合う直近の会誌に掲載されることとなります。会員の皆様には、原稿提出の締め切りを気にせず、納得のいく原稿をいつでも投稿できることとなります。また、これに伴い、編集委員会の組織構成の変更が行われます。各支部からも改めて編集委員を選出することになりました。任期は2年で、再任を妨げないとなります。現在、九州支部からは越地先生（久留米高専）をお願いしていますが、2017年度から2年任期の支部選出の編集委員を、支部理事会で検討して本会に推薦したいと思っております。

議題（14） 会費の自動引き落としについて

現在、本会では会費の自動引き落とし移行への作業が進められています。来年度からの自動引き落としを希望する会員は、今年末までに手続きを行うことになっていますが、会員データベースの整備との関係上、まだ本格的な移行作業は行われていません。現在、会誌には今年末までの手続きの案内が掲載されていますが、詳しい案内については、再度本会の経理委員会から案内がある予定です。会員の皆様には、次の案内以降に自動引き落としの手続きを取られることをお勧めします。

以上

2016年9月

